

防疫指導

(令和4年度)

目的

県内養殖生産者等に対して魚病被害軽減および水産物の安全・安心の確保のため、予防、診断、治療等の防疫指導および巡回指導を実施した。

実績

防疫指導のうち魚病検査は53件、保菌検査は31件であり、その魚種別及び月別の内訳は表1及び2のとおりであった。

表1 月別魚病検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
伝染性造血器壊死症			1						1				2
伝染性造血器壊死症+冷水病			1	1			4	1		1		1	9
冷水病				1					1	1	2	1	6
環境性鰓病			1										1
連鎖球菌症	1	1											2
キロドネラ					1	1							2
不明	1	1			1	1					1		5
アユ													
異型細胞性鰓病+冷水病			1	3									4
ビブリオ病										1	2		3
エロモナス症										1	1		2
ビブリオ病+エロモナス症									1	1			2
エドワジエラ・イクタルリ感染症					1	1							2
不明		1	1	2	2								6
ニホンウナギ													
パラコロ病					1								1
シュードダクチロギルス感染症										1		1	2
エロモナス症											1		1
不明										1			1
ナマズ													
不明			1										1
ホンモロコ													
トリコジナ					1								1
計	2	3	6	7	7	3	4	1	3	7	7	3	53

表2 月別保菌検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
保菌無し												2	2
アユ													
保菌無し	6	6	3	1	1	5	1		3		1	1	28
冷水病原菌									1				1
計	6	6	3	1	1	5	1	0	4	0	1	3	31

(水産研究部)